

オンデマンド配信限定セッション

オンデマンド配信限定セッション 1

トラウマ診療はこわくない

司会：大江 美佐里 久留米大学医学部神経精神医学講座
千葉 比呂美 久留米大学

OD1-1 ヤングケアラーを意識したトラウマ診療

○松岡 美智子
久留米大学医学部神経精神医学講座

OD1-2 トラウマ診療における併存症の見立てと対応

○石田 哲也¹、大江 美佐里^{1,2}、千葉 比呂美¹、松岡 美智子^{1,2}、小曾根 基裕¹
¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²久留米大学保険管理センター

OD1-3 トラウマ診療がこわいとき

○柳田 多美^{1,2}
¹杏林大学、²TICC こころのケガを癒すコミュニティ事業

OD1-4 日本におけるトラウマ臨床の起源と展開

○黒木 俊秀¹、王 百慧²
¹九州大学大学院人間環境学研究院、²熊本大学大学院生命科学研究部

OD1-5 精神保健福祉士がトラウマ診療にどのように関わるか？

○大岡 由佳
武庫川女子大学心理・社会福祉学部

〈メインコーディネーター〉 大江 美佐里 久留米大学医学部神経精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 千葉 比呂美 久留米大学

オンデマンド配信限定セッション 2

慢性疼痛

司会：白井 千恵 順天堂大学大学院精神行動科学講座
井上 雄一 東京医科大学睡眠学講座

OD2-1 内受容感覚と痛みとの関係について ーその関係解明がどのように治療と結びつくかー

○吉野 敦雄
広島大学保健管理センター／脳・こころ・感性科学研究センター



OD2-2 痛覚変調性疼痛

○白井 千恵
順天堂大学附属練馬病院

OD2-3 線維筋痛症とミクログリア:ヒト血液由来ミクログリア様 (iMG) 細胞によるリバーストランスレーショナル研究

○加藤 隆弘^{1,2}、藤本 晃嗣³、稲嶺 翔吾¹、久良木 聡太¹、扇谷 昌宏^{1,4}、葛巻 直子⁵、成田 年⁵、細井 昌子^{2,3}
¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²九州大学病院集学的痛みセンター、³九州大学病院心療内科、⁴旭川医科大学医学部解剖学、⁵星薬科大学薬学部研究室

OD2-4 慢性疼痛と中枢神経感作

○西原 真理
愛知医科大学病院いたみセンター

OD2-5 restless legs 症候群 (RLS) における中枢性感作

○井上 雄一^{1,2}
¹公益財団法人神経研究所、²東京医科大学睡眠学講座

〈メインコーディネーター〉 白井 千恵 順天堂大学大学院精神行動科学講座
〈サブコーディネーター〉 井上 雄一 東京医科大学睡眠学講座

オンデマンド配信限定セッション 3

措置入院統合失調症の治療に持効性注射製剤は貢献し得るか？

司会：伊豫 雅臣 千葉大学大学院医学研究院精神医学教室
山田 浩樹 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

OD3-1 精神科救急急性期医療場面における LAI 治療の位置づけ

○石塚 卓也
医療法人社団碧水会長谷川病院

OD3-2 首都圏地域下の措置入院統合失調症患者における持効性抗精神病薬注射製剤の使用実態調査

○小口 芳世
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

OD3-3 措置入院における薬物療法の課題 ～統合失調症を中心に～

○山田 浩樹
昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

OD3-4 措置入院となり LAI を導入した上で退院となった 3 例

○石井 宏明

昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

〔指定発言者〕

○伊豫 雅臣

千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 小口 芳世

聖マリアンナ医科大学神経精神科教室

〈サブコーディネーター〉 山田 浩樹

昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

オンデマンド配信限定セッション 4

不眠症に対する認知行動療法を精神科診療に活かす

司会：小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座
山寺 亘 東京慈恵会医科大学精神医学講座

OD4-1 精神疾患に伴う不眠症治療における問題点と薬物療法の限界

○小曾根 基裕

久留米大学医学部神経精神医学講座

OD4-2 精神疾患併存不眠症に対する外来認知行動療法（CBT-I）の有効性

○岩下 正幸^{1,2}、山寺 亘^{1,3}¹ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、² 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科、³ 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター精神神経科

OD4-3 不眠症状を合併する精神疾患患者に対する集団 CBT-I の適用と課題

○綾部 直子^{1,2}¹ 秋田大学教育文化学部、² 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

OD4-4 精神科急性期病棟における不眠症に対する認知行動療法の活用とその効果

○瀧井 稔、坂本 賢治、小曾根 基裕

久留米大学神経精神医学講座

OD4-5 がん領域における不眠ケア・認知行動療法

○藤澤 大介^{1,2}¹ 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科／緩和ケアセンター、² 日本認知療法・認知行動療法学会理事長、

〈メインコーディネーター〉 小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座



オンデマンド配信限定セッション5

質の高い精神科医療は地域社会を変える地域を支える精神科医療—地域との連携

司会： 土田 正一郎 俱知安厚生厚生病院
樽谷 精一郎 新阿武山病院

OD5-1 バーチャルリアリティ SST を活用した精神科デイケアにおける就労準備訓練

○加瀬 昭彦
医療法人積愛会横浜舞岡病院

OD5-2 予防を含めた早期家族支援導入について

○須藤 友博
群馬県立精神医療センター

OD5-3 ルールの管理人から共に歩む伴走者へ 慢性期病棟における意思決定支援ガイドを使った退院支援

○工藤 由佳^{1,2}
¹ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、²慶應義塾大学精神神経科学教室

OD5-4 マッピングを用いた依存症支援～自分らしくを支える個別化アプローチ～

○橋本 望
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

OD5-5 クリニックは文化の発信基地 街に出よう！シンプルで寛容な社会を目指して

○高木 友徳
ともこころのクリニック

〈メインコーディネーター〉 浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター
〈サブコーディネーター〉 植田 俊幸 鳥取県立厚生病院・精神保健福祉センター

オンデマンド配信限定セッション6

日本人のメンタルヘルスに与えた Covid-19 パンデミックの影響：JACSIS 研究（全国縦断調査）

司会： 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
大久保 亮 独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科／
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

OD6-1 COVID-19 パンデミック下における日本のメンタルヘルスへの影響： JASTIS プロジェクトによる縦断的分析

○菅原 典夫
獨協医科大学精神神経医学講座

OD6-2 COVID-19 と恐怖・不安

○翠川 晴彦¹、相羽 美幸²、太刀川 弘和³¹筑波大学附属病院精神神経科、²東洋学園大学人間科学部、³筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学

OD6-3 JACSIS/JASTIS 研究：共同研究のすゝめ

○田淵 貴大^{1,2}¹東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野、²大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計

OD6-4 コロナ禍における周産期メンタルヘルス

○陳 冲

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

OD6-5 Covid-19 パンデミック下での精神疾患患者の孤立・孤独

○大久保 亮^{1,2}¹独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科、²北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

〈サブコーディネーター〉 大久保 亮

独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科／
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
精神医学教室

オンデマンド配信限定セッション7

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神科と身体科の連携

司会： 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

OD7-1 精神科医と身体科医との連携の大きな問題点

○竹村 洋典

東京女子医科大学総合診療・総合内科学分野

OD7-2 訪問診療で対応に苦慮した精神科疾患の症例

○川原林 伸昭、小池 宙、當摩 美栄

医療法人社団 LifeDesign 城西在宅クリニック・練馬

OD7-3 愛媛県愛南町の実践より

○長野 敏宏

公益財団法人正光会御荘診療所



OD7-4

**精神科単科医療機関の構造改革に向けて：
地域のニーズに基づく精神科医療と一般医療との連携**

○来住 由樹、竹中央、児玉 匡史、黒岡 真澄、荒金 淳子、山田 了士
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〔指定発言者〕

○関根 小乃枝
厚生労働省精神・障害保健課

〔指定発言者〕

○野口正行
岡山県精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

〈サブコーディネーター〉 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

オンデマンド配信限定セッション 8

鍼灸の科学的根拠と精神医療との相互連携

司会： 中村 元昭 昭和大学発達障害医療研究所
松浦 悠人 東京有明医療大学

OD8-1

体性—自律神経反射からわかる鍼灸の作用機序

○内田 さえ
東京都健康長寿医療センター研究所

OD8-2

精神科領域での鍼灸のエビデンスとメカニズム

○松浦 悠人
東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科

OD8-3

精神科医と鍼灸師の相互連携（AP ネットワークの試み）

○中村 元昭¹、吉田 勝臣^{2,4}、伊津野 拓司^{2,3}

¹ 昭和大学発達障害医療研究所、² 神奈川県立精神医療センター、³ 昭和大学医学部生理学講座、

⁴ メモリーケアクリニック湘南

OD8-4 鍼灸とは何か？世界で用いられる補完医療の科学的根拠

○鈴木 雅雄

福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室漢方外科

〔指定発言者〕

○山本 高穂

NHKメディア総局

〔指定発言者〕

○米倉 まな

はりきゅう処こちめいど

〈メインコーディネーター〉 中村 元昭 昭和大学発達障害医療研究所

〈サブコーディネーター〉 松浦 悠人 東京有明医療大学

オンデマンド配信限定セッション 9

多機能型診療所による地域への働きかけ

司会：大嶋 正浩	医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ
窪田 彰	医療法人社団クボタクリニック

OD9-1 多機能型精神科診療所による行政への具体的提言

○大嶋 正浩

医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ

OD9-2 多機能型精神科診療所を拠点にした多職種アウトリーチの実践と課題

○三家 英明

医療法人三家クリニック

OD9-3 児童虐待における多機能型診療所と地域の連携

○宮内 和瑞子

医療法人医師会宮内クリニック

OD9-4 市町村から委託によるひきこもり・不登校対策事業について

○高井 昭裕

ウェルネス高井クリニック

〈メインコーディネーター〉 大嶋 正浩 医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ

〈サブコーディネーター〉 窪田 彰 医療法人社団クボタクリニック

長谷川 直美 医療法人社団ほっとステーション

大通公園メンタルクリニック



オンデマンド配信限定セッション 10

マイクロアグレッションの理解と克服 その2 ~ 精神医療の向上と共生社会の実現のために

司会：内田 千代子 内田メンタルクリニック関内馬車道
渡辺 雅子 新宿神経クリニック

OD10-1 無意識のバイアスや固定観念はどのように築かれるのか

○内田 舞^{1,2}

¹マサチューセッツ総合病院、²ハーバード大学医学部

OD10-2 SNS 空間におけるセクシズムに関わるマイクロアグレッションについて、フェミニズムの知見からの問題提起

○田中 東子

東京大学大学院情報学環・学際情報学府

OD10-3 典型でないこととマイクロアグレッションのメカニズム

○梅宮 れいか

福島学院大学大学院

OD10-4 マイクロアグレッションの理解と克服 その2 ~ 精神医療の向上と共生社会の実現のために

○峰村 明里、成島 健二

東京都立荏原病院精神科

OD10-5 日常臨床でのマイクロアグレッションへの気づきと対応

○内田 千代子

内田メンタルクリニック関内馬車道

〔指定発言者〕

○林 直樹

西ヶ原病院

〈メインコーディネーター〉 内田 千代子 内田メンタルクリニック関内馬車道

オンデマンド配信限定セッション 11 (法委員会)

精神医学の学際研究への参画と課題：最近の実践例をもとに

司会：田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
岡崎 伸郎 国立病院機構仙台医療センター

OD11-1 自殺予防と自死遺族支援のための学際的・共同研究集会の取組み

○大塚 尚^{1,2}

¹東京大学相談支援研究開発センター、

²一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター

OD11-2 優生保護法下における精神科医療及び精神科医の果たした役割に関する学際研究

○竹島 正¹、後藤 基行²、中村 江里³、三野 進⁴、太田 順一郎⁵、岡崎 伸郎⁶、
富田 三樹生⁷

¹川崎市総合リハビリテーション推進センター、²立命館大学、³広島大学、⁴三野クリニック、

⁵岡山市こころの健康センター、⁶独立行政法人国立病院機構仙台医療センター、⁷多摩おあば病院

OD11-3 アーカイブズに基づく医療・ヘルスケア領域における ELSI の歴史的な分析と患者・市民参画 (PPI)

○後藤 基行^{1,2}、渡部 沙織³

¹立命館大学大学院先端総合学術研究科、²立命館大学生存学研究所、

³東京大学医科学研究所公共政策研究分野

OD11-4 第二次世界大戦とトラウマに関する学際的研究

○中村 江里

広島大学大学院人間社会科学研究科

〈メインコーディネーター〉 竹島 正 川崎市総合リハビリテーション推進センター

〈サブコーディネーター〉 後藤 基行 立命館大学

オンデマンド配信限定セッション 12

オンラインメンタルヘルスケアシステムの現在と未来 - メンタル・ウェルビーイングを高める仕組み -

司会： 中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

OD12-1 遠隔メンタルヘルスケアシステム KOKOROBO から見えたもの

○中込 和幸¹、竹田 和良¹、藤井 猛¹、岩田 遼¹、日吉 史一^{1,3}、飯島 由佳³、鬼頭 伸輔¹、
久我 弘典¹、小居 秀紀¹、大庭 真梨¹、金田 匠海¹

¹国立精神・神経医療研究センター、²復旦大学上海医学院、

³東京慈恵会医科大学大学院医学研究科医学系専攻博士課程

OD12-2 市民・患者参画によるユーザーサポート

○吉見 明香

横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

OD12-3 KOKOROBO 研究から見えてきたチャットボットの効果的な利用とは

○菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

OD12-4 オンラインメンタルヘルスシステムは市民にどう映るだろうか

○渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室



OD12-5

オンラインメンタルヘルスプラットフォーム (KOKOROBO-J) の開発と共創

○竹田 和良¹、高宮 直行²、岡田 俊³、今井 健⁴、吉見 明香⁵、山田 悠至¹、
金田 匠海¹、大庭 真梨¹、小居 秀紀¹、中込 和幸¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター、² 第一生命保険株式会社、³ 奈良県立医科大学、⁴ 東京大学、
⁵ 横浜市立大学

〔指定発言者〕

○大野 裕

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〈メインコーディネーター〉 竹田 和良 国立精神・神経医療研究センター病院情報管理・
解析部

〈サブコーディネーター〉 中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター